

校長室の窓

第33号 平成14年3月5日(月)
(通巻96号)

発行所

〒146-0092東京都大田区下丸子2-23-1
大田区立矢口中学校校長室(鈴木伸男)

1学年では、「総合的な学習の時間」の一貫とした「地域の人の話を聞く会」を2月26日(火)の5校時に体育館で実施しました。

本校でこのような会を行うのは今年で3回目で、一昨年度に区教育委員会の「ふるさと学習」事業としてはじめられました。

一昨年は安久工機の田中社長さん、昨年は昭和銘板篠塚専務さんにお出でいただきましたが、今年は講師に北嶋絞製作所の北嶋一甫社長さんをお迎えしました。

「(へら)絞」とは、一枚の円盤状の金属板をろくろに乗せ、金属のへらを使って、回転させながら円錐形や凹面状の形に成型することです。22日の日には、実際に京浜島にある本社に伺い工場を見せていただきました。回転する円盤が職人の手によってあっという間に製品にされるようすは、まるで手品を見るようでした。

北嶋絞製作所は、この「へら絞り」の技術では世界的に有名な会

分かりやすかった北嶋社長さんのお話

社です。パラボラアンテナや宇宙ロケットの先端部分、燃料タンクなども作る世界最先端の技術を有しています。

当日は、毎日新聞社の取材も入りましたが、実物の「へら」そして出来上がった製品などを見せながら40分間興味あるお話を聞かせてくださいました。ありがとうございます。講演の詳細は次号に掲載します。

話を聞いて分かったこと

◎昨日の話を聞いて、1つの仕事でも一人前になるには、大変で、どの仕事もそうだといっていました。カップ(銀色のキラキラとしたもの)を作るには2~3分、早い人なら1分で作るといわれ、ビックリしました。

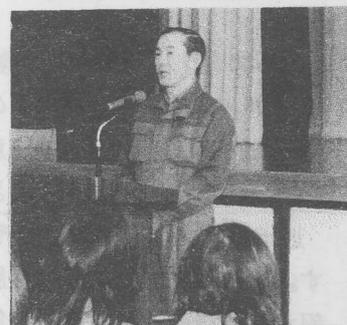
1組 市川奈々子

◎北嶋さんの話を聞いて、下丸子や千鳥町などのこの町周辺の昔の様子がよく分かりました。私のおじいちゃんが矢口西小学校の卒業生なので、矢口西小学校が昔から

あることは知っていましたが矢口中学校は昔はなかったということを知ってとてもびっくりしました。この辺りに工場が多いのは昔も今も同じですが、昔の方がもっと多いと聞いてびっくりしました。

2組 中野明日香

講演する北嶋社長



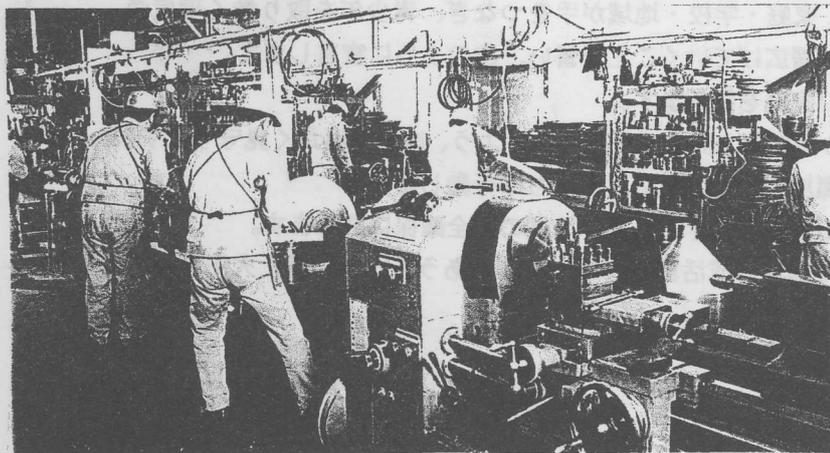
お話を聴いての感想

◎北嶋さんのお話はとても分かりやすく、当時のこと、へら絞りのことがよく分かり、勉強になりました。僕は北嶋絞製作所に行って、へら絞りを体験してみたいなと思いました。へら絞りが一人前になるには、7~8年かかると聞いた時は、とてもびっくりしました。コンピュータでは、作れない物を技術と勘で作れるなんて、すごいと思った。北嶋さんの話を聞いていると手に職を持つということもいいなと思い、将来のことも想像してしまいました。

2組 豊田 誠

◎いろんなことを聞かせてもらいました。金属のことやこれからのことを話していただきました。その話を生かしていきたいです。

3組 国分ゆかり



北嶋絞製作所の内部

3月10日は 東京都平和の日